

岡山市事業系一般廃棄物 組成分析調査報告書

【概要版】 令和7年12月

岡山市イメージキャラクター

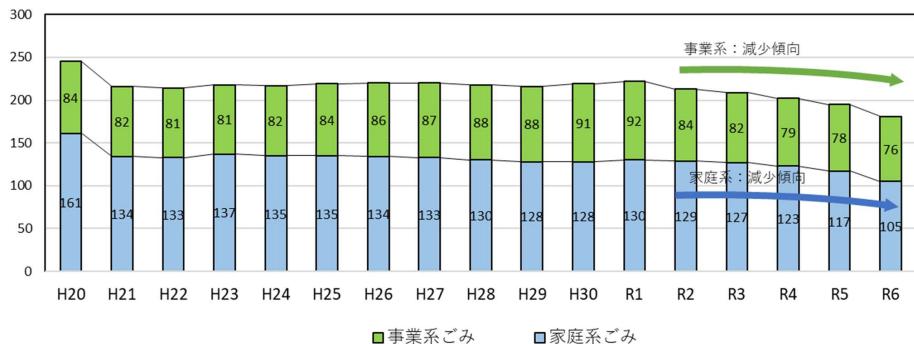
[ミコロ] [ハコロ]



1 調査の目的

岡山市の事業系ごみは、コロナ禍の影響を受け近年減少傾向がみられましたが、経済活動の活性化に伴い増加傾向が予想されます。本調査は、事業系ごみの組成分析調査を通じて、本市の事業系ごみの種類別の排出状況や特徴を把握して、事業系ごみの減量化施策に反映することを目的としています。

(千t / 年)



2 調査方法

調査は、東部クリーンセンターで試料を採取して、採取した試料を表-1に示す分類ごとに仕分けをして、重量と体積を計算しました。



試料採取状況



試料分類状況

試料の分類項目を表-1に示します。試料は、36種類に分別して、重量と体積を計量しています。

表-1 分類項目

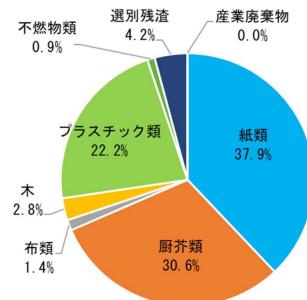
No	大分類	中分類	小分類	具体例
1	紙類	飲料用紙パック(アルミ不使用)	飲料用紙パック(アルミ不使用)	-
2		ダンボール	ダンボール	-
3		新聞紙・チラシ	新聞紙・チラシ	-
4		書籍・雑誌類	書籍・雑誌類	-
5		雑紙	紙箱類、包装紙	菓子箱、石けん箱、紙袋
6		OA用紙	OA用紙	OA用紙、シュレッダーくず
7		リサイクルできない紙	紙おむつ以外	飲料パック(アルミ使用)・汚れた紙・紙コップ・紙皿・感熱紙・ティッシュペーパー・アルミはく
8		紙おむつ	紙おむつ	-
9	厨芥類	食品類	手付かずの食品	手付かずの食品で原形があるもの
10			食べ残し	調理後の食べ残し
11			調理くず(可食部分)	使い残した食材など
12		食品以外	調理くず(不可食部分)	魚の骨、卵の殻など
13	木	衣類	食品以外の厨芥類	コーヒー、ティーバッグ、お茶がら
14		衣類以外	布類	Tシャツ、和服、下着、作業服
15	プラスチック類	剪定枝、草	剪定枝、草	-
16		その他	木製品	木箱、割り箸、鉛筆
17		ペットボトル	リサイクルできるペットボトル	飲料用、調味料
18			リサイクルできないペットボトル	リサイクルマークのないもの、たばこ、油等が混入したもの
19		レジ袋	レジ袋	-
20		発泡トレイ	リサイクルできるトレイ	食品トレイなど
21		発泡スチロール	リサイクルできないトレイ	汚れのひどいもの
22		その他プラスチック製容器包装	発泡スチロール	-
23		容器包装以外のプラスチック類	その他プラスチック製容器包装	シャンプー容器、化粧品容器等
24		容器包装	容器包装以外のプラスチック類	-
25		ゴム・皮革類	プラスチック製品	(製品)プラスチック製品
26		その他	収集袋	-
27	金属類	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	合成樹脂製品、皮革類、長靴等
28		その他	上記以外で分別不能なもの	-
29		不燃物類	スチール缶	飲料缶、菓子缶、缶詰缶
30	ガラス類	アルミ缶	アルミ缶	-
31		スプレー缶	スプレー缶	-
32		その他金属類	リターナブルびん	ビールびん、一升瓶、牛乳びん、コーラびん
33			ワンウェイびん	調味料のびん、インスタントコーヒーのびん、ドリンク剤のびん、化粧品のびん
34			その他ガラス類	その他ガラス類
35	その他	陶磁器類	耐熱ガラス、ガラスコップ	-
36		小型家電製品	植木鉢、茶碗	-
37		乾電池	コード類含む	-
38		リチウム蓄電池	ボタン電池含む	-
39	その他不燃物	上記以外のもの	充電式電池、バッテリーなど	-
40	選別残渣	選別残渣	水銀入り体温計、電球、蛍光灯など	-
41	産業廃棄物	産業廃棄物	ほこり、髪の毛、爪、砂など	-

3

調査結果

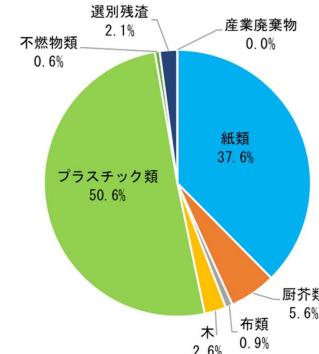
1 重量割合

重量割合が大きい品目は、紙類37.9%、厨芥類30.6%、プラスチック類22.2%であり、この3品目で全体の90.7%を占めています。



2 体積割合

体積割合が大きい品目は、プラスチック類50.6%、紙類37.6%であり、この2品目で全体の88.2%を占めています。



3 重量と体積の比較

厨芥類は重量比30.6%から体積比5.6%と大きく占める割合が減少し、プラスチック類は22.2%から体積比50.6%と大きく増加しています。

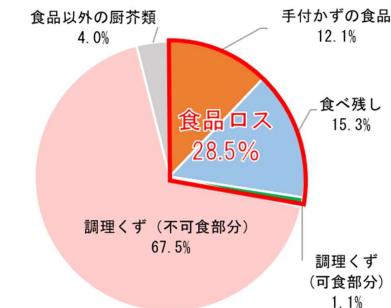


4

考 察

厨芥類に含まれる食品ロスの割合は28.5%です。その内訳は手付かずの食品12.1%、食べ残し15.3%、調理くず(可食部分)1.1%です。

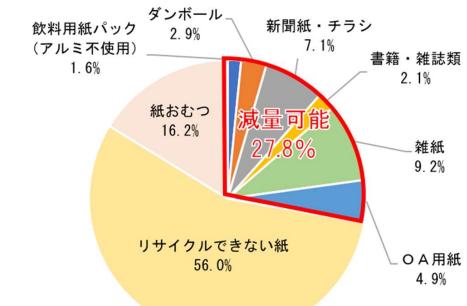
事業者や消費者の少しの工夫で減量化が可能となります。



2 紙類の内訳

紙類の27.8%は減量可能な紙です。56.0%のリサイクルできない紙の多くは、汚れ等の付着によるものです。

排出時に分別を徹底することによって、減量が可能となる可能性があります。



3 減量化可能量

紙類と厨芥類の1/2～2/3程度を減少させた場合、排出量全体の20～27%が減量可能と想定されます。

対象	項目	紙類	厨芥類	計
減量 (%)		5～7%	15～20%	20～27%



岡山市事業系一般廃棄物
組成分析調査報告書 概要版
令和7年12月



岡山市 環境局環境部
環境事業課